

八丈島 水産だより 12月号 2013



ツワブキ



キダチアロエ

12月に入り、島内でも、色とりどりのクリスマスイルミネーションを見かけるようになりました。

島の西側の永郷地区にある、大越鼻灯台近くのアロエ園では、キダチアロエの花が咲きはじめました。キダチアロエの花は空港前の道路など、島内のあちこちでも見られます。ツワブキやキダチアロエの花が咲くと冬の訪れを感じます。

冬になると島では強い西風が吹くため、海が荒れ、漁師さんたちは漁に出られない日が多くなります。

■ 還住丸 引退間近



八丈島と青ヶ島をむすぶ「還住丸」が12月末に引退します。平成4年1月に就航してから22年間、八丈島と青ヶ島の間で人と荷物を運んできました。

船名の「還住」は1785年(天明5年)に起きた大噴火で、やむなく青ヶ島を離れ、八丈島に避難した島民が、50年余りの苦難の末に再び青ヶ島で暮らせるようになったことを表すことばです。

平成26年1月から新船が就航します。

■ クサヤモロ



クサヤモロはアジ科のムロアジの仲間です。大きくなると体長50cmを超えます。名前からもわかるように「くさや」に加工されます。島では鮮度が良いうちに刺身でも食べ、とても美味しいです。

八丈島の周りで体長20~30cmくらいの群れがよく見られ、棒受け網漁で漁獲されます。夏には海水浴場で一緒に泳げることも。体側には美しい青い線があり、「アオムロ」とも呼ばれます。

